

第22回 『グループホーム入居を決める』の巻

ある暑い日、ヨシ子さんが熱中症となり、自宅で倒れているところを発見されるという出来事がありました。幸いヨシ子さんは軽症でした。

その後、ヨシ子さんの認知症の症状は徐々に進行し、家での一人暮らしが難しくなってきました。そこで、ヨシ子さんは娘の百合子さんとグループホームへ見学に行くこととしました。



【解 説】

認知症のある人に限らず、住み慣れた自宅ではない場所で新しい生活を始めようとして環境が変わるときは、誰でも不安に感じるものです。一人での生活が難しくなった場合、安心・安全に暮らしていくために、グループホームなどの施設へ入居することも手段の一つです。入居を決める前に見学に行くことができるのはもちろん、家族や介護福祉サービスの担当者とも話し合いながら、今後の生活の場や環境を考えていくことができるので安心です。

『《グループホームなどの施設に入居しても》』

- ・一時帰宅や外出・外泊は可能です。
- ・家族や友人との面会も可能です。(※感染症等の状況に応じた変更の可能性あり)
- ・本人の能力に合わせた支援が受けられます。(※介護度により申し込めない施設あり)